

■中国：「十二・五計画」期間の電力投資額6兆1,000億元

2012年3月12日中国電力企業連合会は、昨年発表した「電力工業十二・五計画研究報告」（2011～2015年）の改訂版を発表した。それによると、「十二・五計画」期間に中国の電気事業投資額は6兆1,000億元と見積られ、「十一・五計画」期間に比べ88.3%増となる。そのうち、電源への投資額は3兆2,000億元で全体の52%、流通への投資額は2兆9,000億元としている。「十三・五計画」期間の投資額は、「十二・五計画」期間より16.4%多い7兆1,000億元で、電源への投資額は3兆6,000億元、流通への投資額は3兆5,000億元となっている。電気料金については、石炭価格の値上がりの影響により、2015年時点の合理的な平均小売料金を0.7287元/kWh、年平均値上率5%、2020年時点では平均小売電気料金を0.8317元/kWh、年平均値上率2.7%とするよう提言されている。